

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公表番号】特表 2018-528669 (P2018-528669A)

【公表日】平成 30 年 9 月 27 日 (2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-037

【出願番号】特願 2018-505668 (P2018-505668)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/26 (2009.01)

H 0 4 W 88/12 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

H 0 4 W 92/20 (2009.01)

H 0 4 W 88/08 (2009.01)

H 0 4 W 16/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/26

H 0 4 W 88/12

H 0 4 W 72/12 1 3 0

H 0 4 W 92/20

H 0 4 W 88/08

H 0 4 W 16/02

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単一周波数ネットワーク (22、24) 内で制御機能を動作する資源制御装置を転送する方法であって、

前記単一周波数ネットワーク内で複数の送信点 (20) は、同一のダウンリンク・データパケットを同期方法で第 1 のノード (eNB_m) から第 2 のノード (eNB_{m+2}) に送信し、

前記方法は、

資源制御装置 (26、28) で一組の資源制御情報を少なくとも 1 つの候補ノードから受信するステップと、

前記資源制御情報を用いて、前記少なくとも 1 つの候補ノードが前記第 2 のノードである適合性を決定するステップと、

制御機能を動作する前記資源制御装置を、前記第 1 のノードから前記第 2 のノードに転送するのを開始するステップと、
を含む方法。

【請求項 2】

前記資源制御情報を前記少なくとも 1 つの候補ノードから受信する前記ステップの前に、

前記少なくとも 1 つの候補ノードを選択するステップと、

前記少なくとも 1 つの候補ノードを起動するステップと、

情報を前記少なくとも1つの候補ノードから要求するステップと、
のうちの少なくとも1つを実行する、
請求項1に記載の方法。

【請求項3】

制御機能を動作する前記資源制御装置を、前記第1のノードから前記第2のノードに転送するのを開始する前記ステップの後に、前記第1のノードを停止する、
請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

第2のノードとしての候補ノードの前記適合性を決定する前記ステップは、リストの組からの少なくとも一組の資源制御情報を分析するステップを含み、前記リストの組は、
前記第1のノードによって推定される一組の情報と、
少なくとも1つの候補ノードによって提供される一組の情報と、
を備える、
請求項1から3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

前記資源制御情報は、リストから選択される情報の少なくとも1つの項目を備える一組の情報であり、前記リストは、
アップリンク測定と、
ノード能力と、
ノード構成の詳細と、
活動状態と、
無線資源利用と、
処理負荷と、
を備える、
請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記方法は、中央管理装置(30)によって制御される、
請求項1から5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

制御機能を動作する前記資源制御装置の一部のみが、前記第1のノードから前記第2のノードに転送される、
請求項1から6のいずれかに記載の方法。

【請求項8】

前記第1のノードは、送信点の第1のクラスタに関連付けられ、前記第2のノードは、送信点の第2のクラスタに関連付けられている、
請求項1から7のいずれかに記載の方法。

【請求項9】

前記データパケットは、資源制御装置から送信点に同期方法で分散されるので、エアインタフェース上の前記パケットの送信時間は、前記資源制御装置からの前記パケットの前記分散に結び付けられ、
前記第1のノードは、データパケットの分散を停止し、前記第2のノードは、選択された時点でデータパケットの分散を開始する、
請求項1から8のいずれかに記載の方法。

【請求項10】

前記データパケットは、資源制御装置から送信点に非同期方法で分散され、
切り替え時点は、前記第1のノードと前記第2のノードとの間で一致し、
前記第2のノードは、前記切り替え時点後にのみパケットを分散し、前記第1のノードは、前記切り替え時点後にはパケットを分散しない、
請求項1から8のいずれかに記載の方法。

【請求項11】

請求項 1 から 1 0 のいずれかに記載の方法を実行するように構成された移動通信システム。

【請求項 1 2】

請求項 1 から 1 0 のいずれかに記載の方法を実行するように構成された無線アクセスネットワークの実体。

【請求項 1 3】

請求項 1 から 1 0 のいずれかに記載の方法を実行するように構成されたコアネットワークの実体。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 0 のいずれかに記載の方法を実行するように構成された中央管理装置。